

全数報告対象疾患

- （五類）梅毒 2件
 - ・（20代 女性）病型は早期Ⅰ期、感染地は国内、感染経路は異性間性的接触
 - ・（30代 男性）病型は早期Ⅰ期、感染地は国内、感染経路は異性間性的接触

定点把握対象疾患

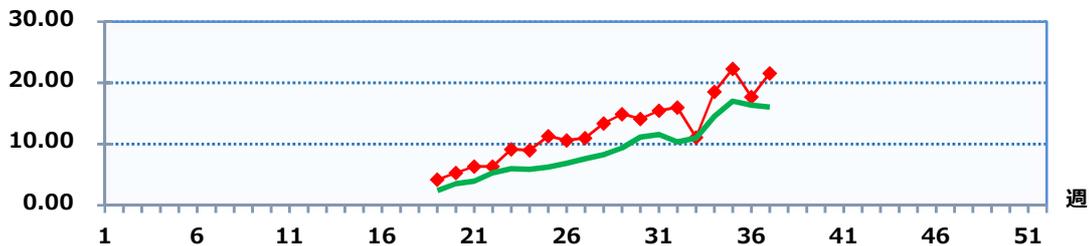
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

2023 北区
2023 東京都

新型コロナウイルス感染症

※新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より
定点把握対象疾患に移行しました。

	前週 9/4~9/10	【最新】 9/11~9/17	傾向
北区	17.73	21.55	↗
東京都	16.36	16.04	↔



Topics

9月24日~30日は結核予防週間です

<いまも一日平均28人が結核と診断されています>

令和3年には年間1万1,519名の患者発生があり、1,844名（概数）が結核で亡くなっています。

新規結核患者は高齢者に多く、およそ4分の3が60歳以上です。また若年の外国生まれの患者の割合が増加しています。

<結核の症状にはどのようなものがあるの？>

結核の症状には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者は気づかぬうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

<結核はどのようにうつるの？>

結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります（空気感染）。

<普段から気を付けることは？>

定期的に健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

<結核は治療すれば治るの？>

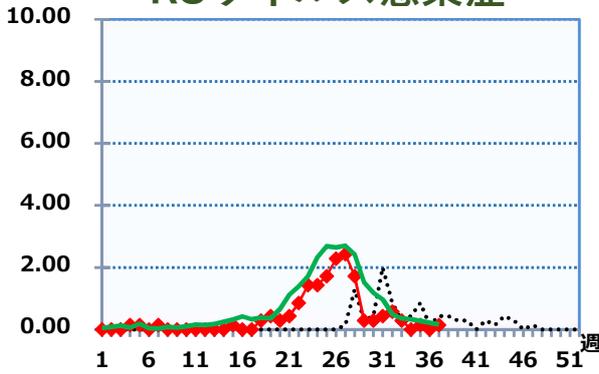
結核は通常、薬（抗結核薬等）を医師の指示通りに飲めば治ります。一般的な治療期間は6か月~9か月となります。治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示されたとおりに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力（耐性）を持ってしまい、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまう可能性があります。医師の指示を守って、治療終了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

定点把握対象疾患

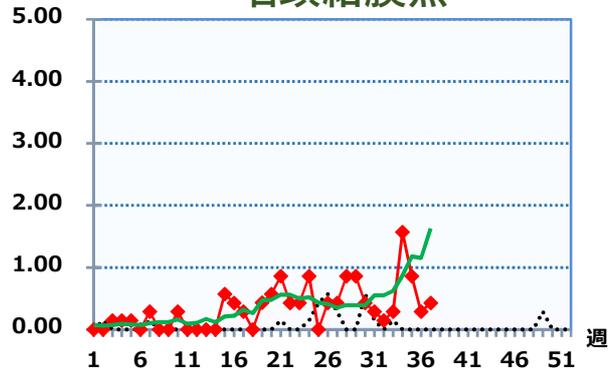
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

..... 2022 北区
 ◆ 2023 北区
 — 2023 東京都

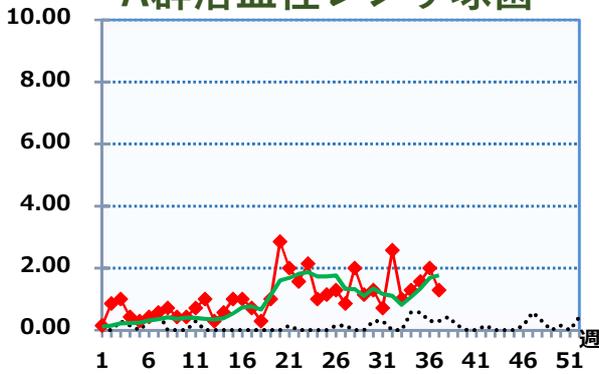
RSウイルス感染症



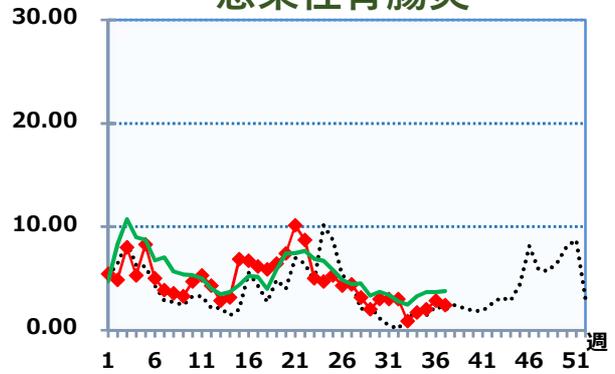
咽頭結膜熱



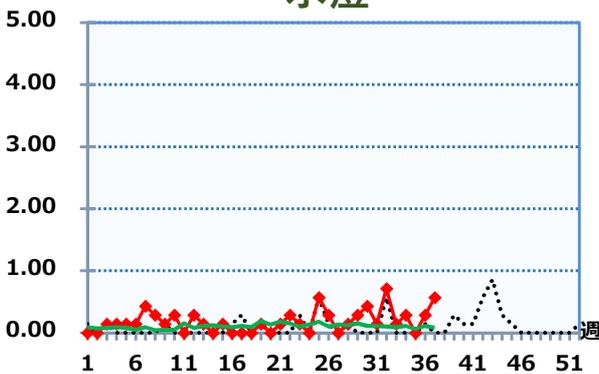
A群溶血性レンサ球菌



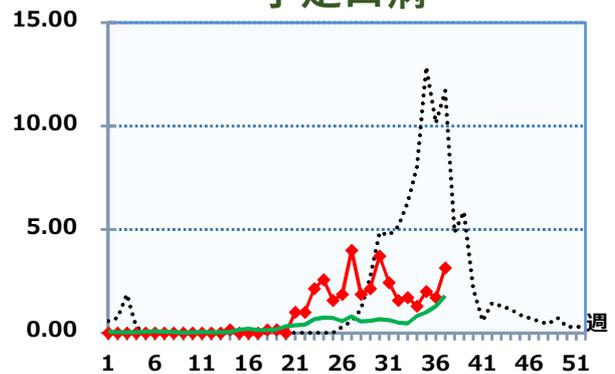
感染性胃腸炎



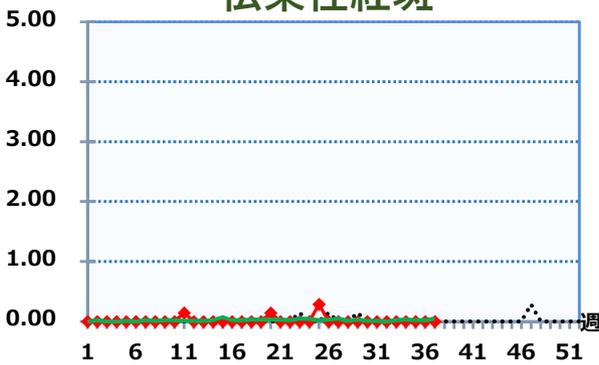
水痘



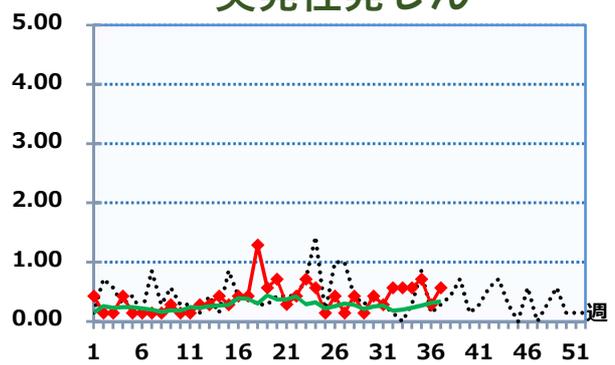
手足口病



伝染性紅斑



突発性発しん

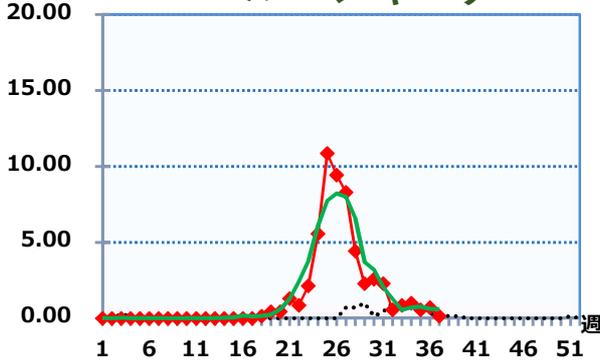


定点把握対象疾患

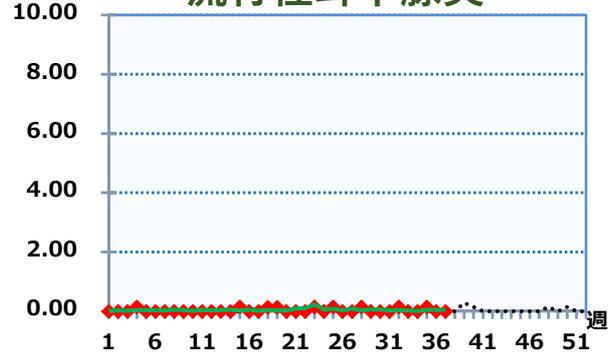
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

- 2022 北区
- ◆ 2023 北区
- 2023 東京都

ヘルパンギーナ



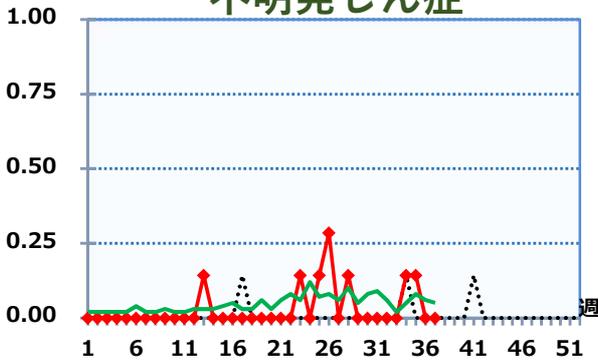
流行性耳下腺炎



川崎病

北区 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.00
東京都 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.01

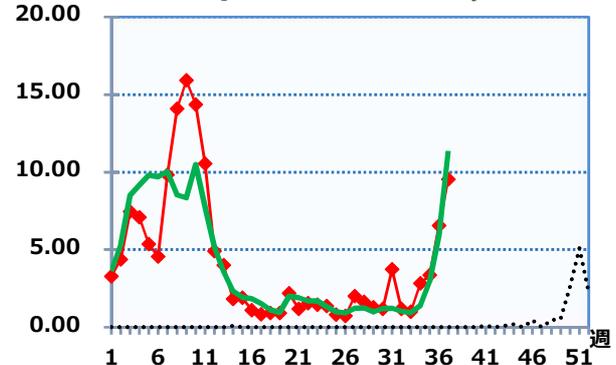
不明発しん症



注意

都の定点当たり報告数は11.37となり、
注意報レベルとなりました

インフルエンザ



性感染症 (2023年8月分まで)

2023年9月分は2023年第40週号にて掲載予定です。

※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

- 膣トリコモナス症
- 淋菌感染症
- 尖圭コンジローマ
- 性器ヘルペスウイルス感染症
- 性器クラミジア感染症

